学校だより

おのみ

令和二年度　十月号

志布志市立尾野見小学校

「今日何がありますか？」

校長　宗岡　克英

　子どもたちは、始業前に体力づくりに取り組んでいます。大運動会前には、縄跳び・竹馬・一輪車に挑戦していましたが、十月一日からは持久走に取り組んでいます。私も時間のある時はなるべく子どもたちと一緒に走るようにしています。

　ゆっくりと走っている私のうしろから迫ってきて「今日何がありますか？」と毎日尋ねてくる子どもがいます。最初は「ん・・？」。何のことかわからなかったのですが、「今日は何か特別な行事はないのですか」ということを尋ねていることがわかってきました。それから私は、「今日はがんがらちやんが来る日だよ。」とか「読み聞かせで保護者の方が来る日だよ。」などと答えるようにしています。その子に限らず、子どもたちは行事一つ一つを楽しみにしているのだなということをあらためて感じました。学校は教科などを学習する場です。それに加えて様々な学校行事や小さなイベントが行われる場でもあります。現在、コロナ禍のもと、密になる学習活動に制限がかかることが多いです。そのような状況のなかでも、様々な体験をすることを楽しみにしている子どもたちのために感染症予防対策をバランスを取りながら一つ一つの行事を大切に行っていきたいと思います。

　今、子どもたちは、十一月四日（水）に予定されているおのみっ子フェスティバルに向けて、準備をしています。当日は、それぞれの学年が生活科や総合的な学習の時間に取り組んだことを中心に発表する予定です。是非、子どもたちの学習の成果を見にいらしてください。

【校訓】

明るく・強く正しく・すこやかに

十月の生活目標
- 仕事を進んでがんばろう

十月の保健目標
- 目を大切にしよう

◆秋季大運動会をとおして

　九月二十七日（日）は、秋季大運動会でした。今年は、密を避けるため、学校のみの運動会となりましたが、多くの方が、感染予防に努めながら、子どもたちに大きな声援を送ってくださいました。開会式では、工夫を凝らしながら、子どもたちが学習した成果を精一杯発表していました。かけっこや徒競走では、転んでも最後まで走り抜ける姿が見られました。また、団体種目では、チームなりの作戦を立てて、団結して競技に取り組む姿が見られました。一年生の親子種目は、親子でデカパンをはいての笑顔いっぱいのプログラムでした。六年生の親子種目は、ドラム缶回しや二人三脚、タイヤ引きなど様々な種類の種目を混合した元気いっぱいのプログラムでした。最後には、「コロナに負けるな〜」というメッセージも届けてくれました。

　プログラムの後半は、ここ数年踊れていなかった「松山音頭」を会場の皆さんと一緒に大きな円になって踊りました。ＡＬＴで、子どもたちに英語を教えてくださっているギャビー先生も一緒に踊っていました。

　そしてプログラムの最後に、全校リレーを行いました。各チームがそれぞれの作戦を立てていることや、学年が上がるにつれて、バトンの受け渡しが向上していることもわかるプログラムでした。閉会式まで、一人も大きなけがをすることなく、練習の成果を出せた運動会でした。閉会後の片付けでは、保護者の方、地域の方、お手伝いいただきありがとうございました。また、たくさんの御声援と御協力ありがとうございました。

お知らせ

　県民週間の十一月二日、四日〜六日の九時から十一時まで学校を開放します。

　十一月四日（水）は、午後一時五〇分から、「おのみっ子フェスティバル」を行います。詳細は、ポスターをご覧ください。